

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	せたな町 総合型スポーツクラブ せたな
取組の名称	有機農法による稲作体験と生き物観察
実施時期	6月・7月・10月
取組内容	<p>小中学生を対象に、有機農法による稲作体験を実施。</p> <p>田植え・除草・収穫を一貫して行いながら、水田や水路などの生き物観察も行い、有機水田ならではの、はぐくまれる豊かな自然環境についても学習。</p> <p>収穫したお米を各家庭で炊飯、1年の作業を振り返り味わった。</p> <p>6/6【食育月間】</p> <p>手植えて田植え。泥の感触と過去の苦労を体験。</p> <p>田植え機の体験搭乗も行い、現在の省力化技術の躍進も学習。</p> <p>7/4</p> <p>有機農法のため、除草剤を使用せず物理的に除草する方法を体験。パイプと鎖を組み合わせた除草器をひっぱり、根付いた稲が倒れても起き上がる強さも併せて学習。</p> <p>またヤゴやミズスマシなどの水棲昆虫や、どじょうや迷い込んだフナなどの魚類を捕まえ、水田環境の豊かさを伝えた。</p> <p>10/9・10</p> <p>手刈りによる収穫を体験。1年間の育成を振り返りながら、実りの秋を体験。なおコンバインにも同乗し、機械化による省力化の体験も併せて行う。</p> <p>収穫した米は後日調製し参加者各家庭に配布、炊飯して味わった。</p>



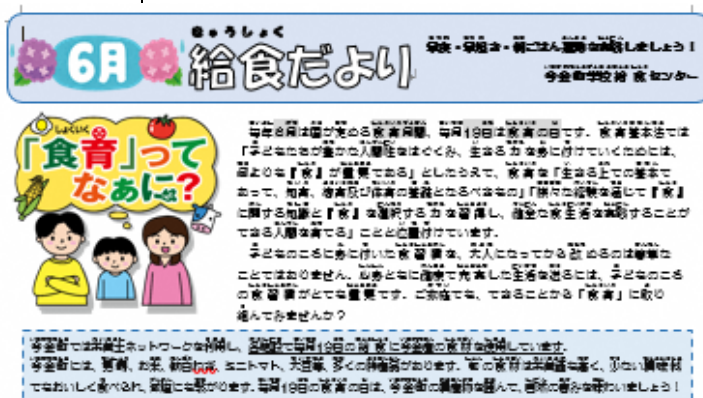
① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	せたな町（給食センター）
取組の名称	せたな町産給食の日
実施時期	年2回（6月・9月）
取組内容	せたな町で採れる食材や美味しさを知ってもらうことを目的に、給食の材料全て（調味料は除く）をせたな町産で調達し、学校給食で食べました。

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	今金町
取組の名称	今金町給食センター 給食だよりを活用した地域住民への「食育月間」周知の取組
実施時期	6月

取組内容	<p>毎月保護者へ配布する「給食だより」にて、食育月間とはどのようなものなのか多くの方への周知を目的として実施しています。</p> <p>詳しい内容としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年6月は食育月間と定められていること。 ・今金町では、毎月19日は地場産の食材を積極的に取り入れていること。 ・家庭における食育について <p>以上の点を記載し、配布しました。</p> <p>また、予定献立表の中にも「今金町の食育の日、“毎月19日は地場産を食べよう”」という1文を毎月掲載しており、食育の日の周知にも取り組んでいます。</p> <p>(給食の献立も毎月19日は地場産を使用した献立としています)</p> <p>給食だよりは当給食センターのHPでも公開しており、地元スーパーの店頭にも掲示させて頂いております。</p> <p>(URL : https://www.town.imakane.lg.jp/edu/kyuusyoku/post_160.html)</p>
------	--




① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	今金町
取組の名称	今金町学校給食センター 食育推進委員会の実施
実施時期	6月23日
取組内容	<p>学校給食を通して学校・家庭・地域の連携を深め、地域の良さや農林水産業を理解し、学校給食が『生きた教材』として「食に関する知識と食を選択する力」を身につける事により、子供達の望ましい食習慣の形成や食に関する理解を促進し、今金町の学校給食の更なる食育活動の推進を図る事を目的としています。</p> <p>委員会の構成メンバーとしては、学校関係者・今金町 PTA 役員及び母親代表・生産者団体・団体関係者（農協青年部、商工青年部、農協女性部、商工女性部、農協）で、今金町で行う食育事業について協議し、更なる食育の向上に取り組んでいます。</p>
	

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	今金町
取組の名称	今金町保健福祉課 今金町の食育の日「毎月19日は地場産物を食べよう」の普及啓発
実施時期	6月
取組内容	<p>【目的】 食育月間の取組みとして町広報誌「広報いまかね」にて、今金町での食育の日の取組み内容などを掲載し全戸配布することで多くの方へ食育に日について周知することを目的として実施しました。</p> <p>【内容】 町広報誌に毎月「栄養士ネットワーク掲示板」を掲載しており、旬の地場産物を使ったレシピや栄養(食)に関する情報を紹介することで食育活動をしています。6月号では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町独自の食育の日を「毎月19日は地場産物を食べよう」としていること ・感染症対策として免疫を高める食事のこと <p>を掲載することで食育の日と栄養情報を掲載し食育月間での取組みとしました。また、掲示板でのレシピ掲載は町での食育の日実践につながるものとなっています。</p>



栄養士ネットワーク掲示板

問合せ先：
今金町栄養士ネットワーク(株)
今月の担当：
今金町地域包括支援センター
山口 (☎82-2780)
※町内各施設に所属する
管理栄養士、栄養士で
構成された団体です。

今金町の食育の日
「毎月19日は地場産物を食べよう」



食育とは？
「食育」とは、食に関する知識や選択力を身に付け、健全な食生活を育むことです。
今金町では、毎月19日に地場産物を食べ、地産地消の普及啓発を図ることを目的に栄養士ネットワーク所属施設で今金産の農産物を使った給食の提供等を行っています。

今金町で作られている農産物

お米、小麦
家事や運動など活動するエネルギーの源です。
また、勉強や仕事の際は、脳の唯一の栄養として、お米や小麦等に含まれる糖質(ブドウ糖)が使われます。

野菜
多くの種類のビタミンが含まれ、体の調子を整えます。
脂肪の吸収を緩やかにしてコレステロール値を下げる食物繊維や食事で摂った塩分を体の外へ出すカリウムも含まれています。
春～夏の野菜：アスパラ、今金男しゃく、軟白ねぎ、ミニトマト、ブロッコリー、ズッキーニ、ピーマン、にんじん等

黒毛和牛、大豆
骨、筋肉、皮ひき等を作るたんぱく質が豊富に含まれています。

(令和3年度) 6月号町広報誌「栄養士ネットワーク掲示板」